



高木たけし



みよし剛史

発行：日本共産党  
福山市議会議員団  
津之郷町津之郷 970-1  
084-952-2662

# 「蔵王雨水幹線」現地視察報告 手城川の浸水対策が進む

近年の豪雨によって手城川流域では浸水被害が頻発しており、平成30年7月豪雨では61戸の床上・床下浸水が発生し、抜本的な浸水対策が求められていました。

## 雨水貯留施設として有効活用

手城川下流域では県による河底の浚渫工事とともにポンプの増設が行われており、南蔵王・蔵王町では今年度末の完成予定で「蔵王雨水幹線」が整備中です。

みよし剛史市議は5月19日、雨水幹線の現場見学に参加し、地下約15メートルを掘り進めて整備されている管径3000mmの管渠の中を視察しました。

この管渠が完成すると、延長は約3.2kmにもなり、明神町に建設中の「蔵王ポンプ場」と接続します。豪雨によって水路が増水した際に雨水を管渠へ送り込み、ポンプによって手城川の下流域に排水します。

しかし、ポンプ場の工期が予定よりも2年延びたことから、昨年3月の予算特別委員会のみよし市議が、ポンプ場が完成するまでの

当面の間、雨水幹線を雨水貯留施設として活用することを求めたところ、雨水幹線自体に貯留できる量が約1万5000m<sup>3</sup>(標準的な25m<sup>2</sup>の25杯分)であることが明らかにされ、ポンプ場の完成を待つことなく、雨水貯留施設として有効活用されます。

視察中の説明では、エリア内にある水路の水位が概ね80%程度に達した時点で雨水を取水口から流入させていく仕組みとなっており、取り込まれた雨水は降雨が収まってから、徐々に排出されます。

浸水対策の前進は地域の大きな願いであり、一日も早い完成が待たれるところですが、治水は流域全体の整備効果が発揮されなければなりません。

引き続き、手城川の河川改修も着実に進められるよう、県への要望活動も市議団として行っていきます。

### 2022年度

## 政務活動費 収支報告

政務活動費は、議員一人あたり月13万円が支給され、市政に関する調査研究や市民のみなさんへの広報、意見を聞くために使用します。

日本共産党福山市議団の2022年度政務活動費の収支をご報告します。

おもに、「研修費」は行政課題について学ぶオンライン議員研修、「資料購入費」は調査・研究のための専門書や新聞などの購読、「広報費」は議会だよりの印刷やホームページで閲覧できます。

「資料購入費」は調査・研究のための専門書や新聞などの購読、「広報費」は議会だよりの印刷やホームページで閲覧できます。

科目	金額
1 調査研究費	0
2 研修費	7万6401円
3 資料作成費	0
4 資料購入費	41万4408円
5 広報費	148万6122円
6 広聴費	630円
7 要請・陳情活動費	6万7570円
8 会議費	0
9 人件費	177万3639円
10 事務所費	43万9920円
合計	425万8690円

## 6月議会 日程

6月	2日	金	常任委員会
	5日	月	議会運営委員会 (午前9時30分)
	12日	月	本会議
	15日	木	議会運営委員会
	19日	月	本会議 (一般質問)
	20日	火	
	21日	水	
	22日	木	
	23日	金	常任委員会
	27日	火	予算特別委員会
	29日	木	議会運営委員会・本会議 (午後1時)

## 市民要求懇談会

日本共産党市議団の「市民要求懇談会」を開催します。要望や困りごとを出し合い、市政の改善につなげましょう。お気軽にご参加ください。

●5月31日(水)  
午後3時から

議会棟3階 第1会議室

(議会棟2階受付にお越しください)